

訓練名	教育時期	内容	教育時間(時間/年)	左記訓練の趣旨、目的、効果、目標
新規採用者訓練	1年目	ビジネス会話教育	5時間	当社においてまず、就労に必要な左記の内容の訓練を行い、日常業務を円滑に進めて行くこととなり、長期の就労に結びつけていく事を目的とします
		ビジネス文書作成教育		
		ビジネスマナー教育		
検査技術教育	1年目	計量器取扱い教育	6時間	日本工業規格(JIS)に基づいた計量器の取扱いについて教育を行い、技術業界における計測技術のスタンダードを習得する事を目的とします。
	2年目	環境試験機器取扱い教育	5時間	国際規格(IEC)に基づいた環境試験機器の取扱いについて教育を行い、技術業界における環境試験技術のスタンダードを習得する事を目的とします。
	3年目	ノイズ試験器取扱い教育	4時間	国際規格(IEC)に基づいたノイズ試験器の取扱いについて教育を行い、技術業界におけるノイズ試験技術のスタンダードを習得する事を目的とします。
	4年目以降	電気工事士教育	3時間	国家資格第二種電気工事士取得の為の教育及び実習、試験費用等支援を行い電気工事における業務範囲の拡大を目的とします。(目標:第二種電気工事士資格取得)
ハードウェア技術教育	1年目	材料工学教育	4時間	機器を構成する材料の材質の特性や強度に関する教育を行い、より良い製品開発を円滑に行う事を目的とします。
	2年目	電子工学教育	2時間	電気・電子の教育を行い、安全で効率の良い製品開発を円滑に行う事を目的とします。
	3年目以降	工学戦訓教育	1時間	過去、機器開発において失敗した事例と対策の教育を行い、新製品開発時の不具合を再発を防止する事を目的とします。
ソフトウェア技術教育 (セキュリティ教育含む)	1年目	セキュリティ教育	4時間	メールや記憶媒体取扱い時の手法や禁止事項などを教育し、電算機器取扱い時に発生する情報漏えいを未然に防ぐ事を目的とします。
	2年目	ソフトウェア基礎教育	2時間	電算技術の基礎(言語、使用用途)などの基礎教育を行い、機器開発時における業務を円滑に追う事を目的とします。
	3年目以降	ソフトウェア工学教育	1時間	実際の開発機器に色々なソフトウェアを実装し、ソフトウェアにおける機能や役割を理解を深める事を目的とします、
職種転換教育	2年目	現業外業務紹介	2時間	現業教務以外の他部門業務の紹介や説明を行い、キャリアアップの選択肢を幅広く持って頂く事を目的とします。
	3年目	現業外業務教育	1時間	希望する他部門で業務した経験のある講師を招き教育を行い、円滑な職種転換を目的とします。
リーダー就任教育	3年目	職長教育(RST教育)	2時間	現業部門で職長となる為、職長資格取得の教育を行います。
	4年目以降	職長資格受講	2時間	職長資格の取得の為、公的機関での受講・資格取得の試験費用等支援を行います。(目標:職長資格RST資格取得)